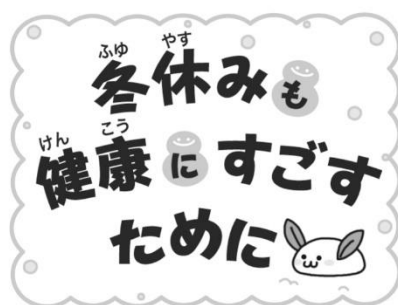




おうちのかたと
いっしょに

ふゆやす げんき 冬休みも元気にすごそう！

今年は、インフルエンザの流行が早く、11月上旬からインフルエンザによる学級閉鎖の措置をとった学校が多くありました。青葉小学校でも12月の始めに1年生で学年閉鎖を行いました。現在はインフルエンザでお休みしている人もいますが、落ち着いてきています。冬休み中も元気に過ごせるように、以下のことに気を付けて生活しましょう。



がっき ほけんしつ ようす 2学期の保健室の様子は...

8/20(火)～12/19(木)のあいだに

☆病気171人

★けが261人

⊕相談7人

◎合計439人

が 保健室を 利用しました。

保健室を利用した時間は、4時間目、2時間目、昼休みの順で多かったです。

けがによる利用は、昼休みと昼休み終了後の5分休みが多かったです。教室を走っていて、人や物にぶつかってけがをして人が多くいました。気を付けましょう。多いけがは打撲と鼻血でした。

病気による利用は4時間目が多かったです。症状は頭痛と腹痛が多かったです。また、インフルエンザの流行により11月と12月は発熱による早退が増えました。この時期は、病気による保健室利用がぐっと増え、けがによる利用が減りました。

相談は、着替えの貸出と友人関係のトラブルが多かったです。



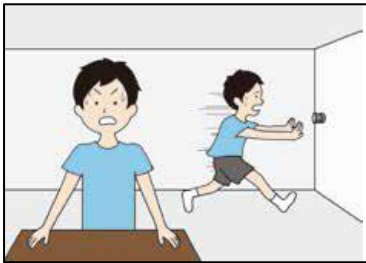
おうちのかたへ

インフルエンザにかかったときの異常行動にご注意ください。

すでにテレビなどで報道されておりますが、インフルエンザにかかったときには、抗インフルエンザウイルス薬の種類や服用の有無にかかわらず、異常行動に関連すると考えられる転落死等が報告されています。

また、異常行動は、①就学以降の、小児未成年者の男性で報告が多い(女性でも発現する)、②発熱後、2日間以内に発現することが多いことが知られています。

＜異常行動の例＞



突然立ち上がって、部屋から
出ようとする



興奮して窓を開けて、ベラン
ダに出て飛び降りようとする



人に襲われる感覚を覚え、
外に走り出す

以上のことから、お子様がインフルエンザにかかり、自宅で療養する場合は、抗インフルエンザ薬の種類や服用の有無にかかわらず、少なくとも2日間は、お子様を一人にしないことを原則としてください。

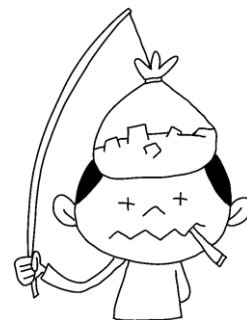
原則に加え、異常行動が発生した場合でもお子様が容易に住居外に飛び出さないような対策も考えられます。

(1) 高層階の住居の場合

- ・ 玄関や全ての部屋の窓の施錠を確実にを行う
- ・ ベランダに面していない部屋で寝かせる
- ・ 窓に格子のある部屋で寝かせる

(2) 一戸建ての場合

- ・ (1)に加え、できる限り1階で寝かせる



参考：厚生労働省 リーフレット「異常行動による転落等の事故を防ぐためのお願い」

